

# 品質証明 (SDS)

## 1. 化学物質等及び会社情報

会社名  
住所

担当部門  
電話番号  
FAX番号  
緊急連絡先  
作成  
改訂

奨励用途及び使用上の制限



株式会社 **創建**

東京都豊島区西池袋1-11-1  
メトロポリタンプラザビル17F  
開発部  
03-5992-9231  
03-5992-6423  
03-5992-9231  
2006年6月16日  
2018年10月1日

: 接着剤

MaterialsID 152

## 製品名 : ロックウールボンドダブヨン

※シックハウス対策について

上記の製品はF☆☆☆☆です。(「16. その他の情報」参照)

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類 : GHS分類に該当するデータは得られていない。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

: 混合物

化学名又は一般名

: 酢酸ビニル樹脂系エマルジョン形接着剤

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法番号	安衛法番号	
酢酸ビニル樹脂	30%~40%	特定できない	(6)-295	既存	9003-20-7
水	60%~70%	特定できない	不明	不明	不明
酢酸ビニルモノマー	1%未満	CH <sub>2</sub> =CHOCOCH <sub>3</sub>	(2)-728	不明	108-05-4

分類に寄与する不純物及び安定化添加物 : 情報なし

労働安全衛生法

: 名称等を通知すべき危険物及び有害物  
(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号・別表第9)  
酢酸ビニル(政令番号:180)(1%未満)

## 4. 応急措置

吸入した場合

: 吸入して、かゆみ等の異常が生じた場合は速やかに新鮮な空気のある場所に移し、安静・保温に努め速やかに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

: 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。  
付着物を拭き取り、中性石鹼を使ってよく洗い落とす。外観に変化が見られたり、かゆみ、炎症等の症状が出た時は医師の診断を受ける。(汚染された衣服や靴は脱ぐ)

眼に入った場合

: 直ちに清浄な水で15分以上洗眼し、痛みが残る場合は眼科医の診断を受ける。  
コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。

飲み込んだ場合

: 水で口の中をよく洗い、直ちに医師の診断を受ける。無理に吐き出させないようにする。

## 5. 火災時の措置

消火剤	: 粉末・炭酸ガス・泡。
特有の消火方法	: このもの自体に可燃性はないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性がある。燃焼の際は火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。消火作業は風上から行い、必要に応じて保護具を着用する。
消火を行う者の保護	: 保護衣を着用するほか、状況によっては、不浸透性手袋、有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 作業の際は必ず保護具を着用する。
環境に対する注意事項	: 回収物およびウエスは、廃棄上の注意事項に基づき廃棄する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	: 少量の場合は、紙や布で拭き取る。 大量の場合は、火花の出ないシャベル等で密閉できる容器にすくい取る。(ウエス・砂等に吸収させ蓋付き容器に回収する)。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	: 水による希釈や品種の異なる接着剤との併用及び混合はしない。 取り扱い場所及び作業箇所は換気を行ない、施工後も接着剤が硬化するまで、通常の換気(日常生活の程度、朝夕1~2時間)を行なう。 使用時は目・皮膚等への接触を避けるため適切な保護具(手袋・長靴・保護マスク等)を着用する。使用時及び取扱い箇所には、『火気厳禁』及び『立入禁止』の表示を行う。 一度開封した接着剤は、できるだけ早く使い切る。使い残した場合は密封して保管する。 作業中に身体に異常を感じた時は直ちに使用を中止し必要に応じて医師の診察を受ける。身体や衣服に付いた時は、速やかに石鹼水等で洗い落とす。 使用箇所及び貼付け材料は、容器の表示を確認し使用する。
技術的対策	: 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
接触回避	: 『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管	: 直射日光を避け、容器を密閉して5℃~35℃の環境で子供の手の届かない屋内に場所を定めて保管する。誤飲防止と食品への混入を避けるため、保管場所は食品と区別する。
安全な保管条件	取扱い後・休憩前は手洗い、うがい、洗顔等を行う。 現場施工用接着剤です。食品への混入を避ける為、食品容器、給餌器等には使用できません。 使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者へ処分を委託する。 河川・湖沼・下水道などへ廃棄したり、流入させない。 使用になる前には、商品容器の表示事項をよくお読み下さい。

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	: 局所排気装置又は、自然換気等の換気を行う。
保護具	
呼吸器の保護具	: 状況に応じ、有機ガス用防毒マスクを着用する。
手の保護具	: 状況に応じ、PE、ゴム製等の非浸透性の手袋を着用する。
眼の保護具	: 状況に応じ、保護メガネを着用する。
皮膚及び身体の保護具	: 状況に応じ、長袖作業衣等を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

外観	
物理的状態	: 液体
形状	: 粘稠液
色	: 乳白色
臭い	: 酢酸臭
臭いのしきい(閾)値	: データなし
pH	: 4.0~6.0
融点・凝固点	: 約0℃

沸点、初留点及び沸騰範囲	: 約100°C
引火点	: 引火せず
蒸発速度	: データなし
燃焼性（固体、気体）	: データなし
燃焼又は爆発範囲	
下限	: データなし
上限	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
比重（密度）	: 0.98~1.08（g/cm <sup>3</sup> ）
溶解度	: 水で無限大に希釈可能。
n-オクタノール／水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
粘度（粘性率）	: 30,000~50,000 mPa・s / 23°C
動粘性率	: データなし
その他	: 揮発性：なし

---

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: 情報なし。
化学的安定性	: 法規制に従った保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。
危険有害反応可能性	: 現在のところ知見なし。
避けるべき条件	: 現在のところ知見なし。
混触危険物質	: 情報なし。
危険有害な分解生成物	: 現在のところ知見なし。

---

## 11. 有害性情報

急性毒性	
経口	: 現在のところ知見なし。
経皮	: 現在のところ知見なし。
吸入	: 現在のところ知見なし。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 腐食性：現在のところなし。 皮膚に付着したままにしておくことと炎症を起こす場合がある。
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性	: 目に刺激性あり。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 現在のところ知見なし。
生殖細胞変異原性	: 現在のところ知見なし。
発がん性	: 現在のところ知見なし。
生殖毒性	: 現在のところ知見なし。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: データなし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: データなし
有害性その他	: 慢性毒性：現在のところ知見なし。 催奇形性：現在のところ知見なし。

---

## 12. 環境影響情報

水生環境有害性（急性）	: 現在のところ知見なし。
水生環境有害性（長期間）	: 現在のところ知見なし。
生態毒性	: 情報なし
オゾン層への有害性	: データなし
その他	: 魚毒性：河川に流出した場合はエマルション中の樹脂の粘着による呼吸困難のため、魚類が死亡する場合がある。

---

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
-------	--

洗浄水等の排水は、水質汚濁防止法等の関連諸法令に適合するように充分注意する。

汚染容器及び包装 : 情報なし

#### 14. 輸送上の注意

##### 国際規制

海上規制情報 : 該当しない  
Marine Pollutant : Not applicable  
Transport in bulk according to MARPOL 73/78, Annex II, and the IBC code : Not applicable

航空規制情報 : 該当しない

##### 国内規制

陸上規制 : 該当しない  
海上規制情報 : 該当しない  
海洋汚染物質 : 非該当  
MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 : 非該当  
航空規制情報 : 該当しない  
特別安全対策 : 容器に漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷のないように取扱い、荷崩れの防止を確実にを行う。  
緊急時応急措置指針番号 : なし

#### 15. 適用法令

化審法 : 優先評価化学物質（法第2条第5項）  
労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号・別表第9）  
消防法 : 非危険物  
大気汚染防止法 : 有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質（中央環境審議会第9次答申）揮発性有機化合物（法第2条第4項）（環境省から都道府県への通達）  
海洋汚染防止法 : 危険物（施行令別表第1の4）  
有害液体物質（Y類物質）（施行令別表第1）  
外国為替及び外国貿易法 : 輸出貿易管理令別表第1の16の項  
特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法） : 廃棄物の有害成分・法第2条第1項第1号イに規定するもの（平10三省告示1号）  
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法） : 産業廃棄物（法第2条第4項）

#### 16. その他の情報

JIS A 5538 『壁・天井ボード用接着剤』  
JQA 認証番号 JQ0406007 F☆☆☆☆  
建材からのVOC放散速度基準 4VOC基準適合 JAI A-401697  
（日本接着剤工業会）  
ホルムアルデヒド基準 室内空気質汚染対策のための自主管理規定  
（日本接着剤工業会） JAI A-010375 F☆☆☆☆  
連絡先 情報なし  
参考文献 独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）「GHS分類結果データベース」  
日本ケミカルデータベース株式会社 法規制データベース「ezCRIC」  
日本ケミカルデータベース株式会社 「ケミカルデータベース」  
製品安全データシート指針（日本化学工業協会）  
化学物質等の危険有害性等表示制度（労働基準調査会）  
化学物質安全性情報の提供について（食品薬品安全センター）  
化学品法令集 化学工業日報社（1991）  
15911の化学商品 化学工業日報社（2011）  
その他 危険有害性の評価は必ずしも充分ではないので取扱いには注意して下さい。

記載内容は、現時点で入手できる資料・情報及び試験に基づいて作成しておりますが、新しい知見により改訂される事があります。

全ての化学製品は、未知の有害性があり得るため、取扱いには充分注意する必要があります。又、記載内容は安全性に関する情報提供であって、製品の保証書ではありません。

注意事項は、通常の手扱いを対象としたもので、特別な取扱いをする場合は用途・使用方法に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。